

## 令和3年度一般会計当初予算 209億5700万円

大きな予算は

- 被災住居応急修理事業 2億7160万円 → 台風による被災住居の復旧
- ワクチン接種事業 2億4291万6千円 → ワクチン接種の経費  
(予防接種費、コールセンター運營業務、WEB予約システム等)
- 雨水排水路整備事業 1億4832万8千円  
→ 館山中学校整備に伴う排水路整備及び楠見1号排水路
- 中小企業融資事業 4億7615万1千円  
→ 令和2年度に同制度で融資したものの返済元金助成金、中小企業融資預託金など
- 高齢化社会の進行や、障がい者福祉事業の改革に伴う社会保障関連経費の増加もあげられます。



## 令和3年度補正予算第1号

国から交付される地方創生臨時交付金を利用して、新型コロナウイルス対策に充てる3億983万9千円の補正予算が組まれました。

主な事業

- SNS活用情報発信事業 155万1千円 → LINEを使った情報発信の仕組み作り。
- 市街地循環バス実証運行事業 1458万4千円 → 市街地循環バスの実証実験(夏ごろ再度行います)。
- 子育て施設感染症対策費 2117万8千円 → 公立保育園等の感染対策。
- 医療機関事業継続支援補助金 1800万円 → 医療機関の事業安定のための支援。
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 5289万3千円  
→ 送迎用の車両運行、データ入力、接種会場運営費など
- ごみ指定袋無料配布事業 595万8千円 → 全家庭に1200円分のごみ指定袋配布。(5月ごろ)
- 経済対策費 1億1107万円 → プレミアム商品券(7月ごろ)、キャッシュレス決済ポイント(6月ごろ)、  
飲食、宿泊クラウドファンディング事業 など
- 渚の駅、都市公園、博物館などの改修費 1947万8千円  
→ トイレの様式化など感染防止対策。
- 成人式代替事業 52万円  
→ 中止になった令和3年成人式の代替行事を8月に予定。



他にも、健康増進や負担の大きな介護施設支援などの予算が組まれています。

## 前澤友作館山応援基金

一昨年末の前澤友作さんのふるさと納税、20億円は前澤友作館山応援基金として積み立てられています。

- 【決定している使い道】
- 中小企業融資事業(コロナ禍の影響を受けた市内事業者への融資事業)
  - 食のまちづくり拠点整備事業
  - ジビエ加工処理施設整備運営事業
  - 港湾施設整備事業(館山夕日桟橋の拡幅事業 国補助事業の市負担分)

## イノシシ対策

イノシシの捕獲報奨制度のほか、農作物を守るための防護柵、狩猟免許取得などの補助制度があります。(詳細は、農水産課☎0470-22-3396へご相談ください)

捕獲した害獣の処理について、処理施設を出野尾の建設予定です。また、ジビエ加工処理施設も令和4年度開業を目指して準備を進めます。

おわりに



コロナ禍で生活様式が大きく変化しています。デジタル化が加速し、誰でも、どこでも情報を発信し、受け取ることができるようになりました。そのおかげで館山市内への移住者、二拠点居住者も増えてきています。

環境保護の取り組み、多様性を認める社会づくりなどが叫ばれ、大きなうねりとなっています。

館山の価値は、美しい自然環境、培われた歴史、温かい人々にあります。私たち市民がこの価値を再認識し、その恵みを享受し、発信していくことが地域の未来につながります。

未来のための地域づくりを一緒に考えましょう。

一方でSDG'sの掛け声とともに、地球温暖化防止、環